

第 24-2 回 心理学・教育学委員会 心の先端研究と心理学専門教育分科会 議事要旨

日時： 平成 30 年 6 月 6 日（水） 10：00～12：00

場所： 日本学術会議 5－A（2）会議室（東京都港区六本木 7-22-34）

出席者： 西田真也、友永雅己、明和政子、蒲池みゆき、入來篤史、内田伸子、大平英樹、岡ノ谷一夫、亀田達也、川畑秀明、河邊隆寛、坂上雅道、坂田省吾、實藤和佳子、積山薫、原田悦子、松沢哲郎、村上郁也、四本裕子（19 名）

<議事概要>

1. 前回議事要旨の確認

前回議事要旨の確認を行い、了承された。

2. 日本心理学会でのシンポジウム企画提案について

日本心理学会第82回大会での大会企画シンポジウムとして、当分科会から企画提案したことが報告された。タイトルは「人類の持続的発展に心理学はどう貢献しうるか？—心理学と人工知能との対話から」、日時は2018年9月26日（大会二日目）を予定している。

3. 内閣府からのマスタープラン 2020 アンケート回答依頼について

標記のアンケートについて、詳細を知る委員からの説明があった。今回はマスタープランの 10 年ぶりの大改訂となり、様々な課題が提起されている。幅広く学術会議の会員、連携会員の意見を募ることとしている。マスタープランには区分Ⅰと区分Ⅱがあり、各区分の違いについての説明があった。また、分野としての今後の対応について議論を行った。

2. 今後の分科会の活動・審議内容について

各委員から、主に研究教育環境に関して自己紹介を行うとともに、各々が当分科会への参加に至った動機などについて報告がなされた。さらに、任期中に分科会が取り組むべき内容についての意見交換を行った。今後、心の先端研究を行う環境づくりに資するための重要な論点がいくつか挙げられ、大学、研究機関における若手研究者の現状や、分野の研究内容の整理、大型研究資金および運用サポートに向けた分野としての組織的戦略、優秀な研究者を継続的に育成するための施策など、論点を整理しながら適宜議論を行う必要があるという意識が共有された。

以上